

令和7年 3月 31日

森町長 太田 康雄 様

公立森町病院経営強化プラン評価委員会
委員長 高橋 泰

令和6年度森町病院事業経営強化プラン評価委員会 意見書

森町病院事業経営強化プラン評価委員会において、令和6年度取り組み結果・評価及び令和7年度事業計画（案）について協議した結果、以下のとおり意見書として提出する。

評価総括： 全国的に病院経営が苦しく、多くの病院で医業利益が減少する中、森町病院は前年対比で見ても確実な改善の兆しを見せており、その取り組みを評価する。昨年度からの積み上げにより、病院運営の指標は着実な上向き傾向にあり、他の公立病院と比較しても着実な経営努力が認められる。

令和7年度から開始する内科・外科を一体化した総合診療科体制については、専門分化が進む内科と外科の現状に対し、地域包括ケアに最適化した形でのジェネラリスト志向の受け皿として、時代の先取りとなる正しい方向性と考えます。今後、この総合診療体制を軸に、地域密着型多機能病院としての役割を深めることが重要である。

一方で、諸物価や人件費の高騰は深刻であり、収益増を上回るコスト増への対応は依然として喫緊の課題である。今後は、業務委託の精査や医療機器の最適化など、コスト削減に向けた一から見直す姿勢を継続する必要がある。また、地域包括ケアの核として持続可能な経営を実現するため、医療機能評価の受審も見据えた業務の標準化と効率化を一層推進し、安定した病院経営の実現を求めます。

(1) 令和6年度 経営強化プラン取組結果・評価について

① 共同購入及び経費削減の取組について

医材料等の共同購入については、中東遠 5 病院での共同交渉が開始されたことを評価する。今後は薬品や検査試薬等の対象品目拡大や、業務委託費の精査を含め、医業収益に対する業務委託比率を適正範囲内に抑える努力を継続すること。

② 地域連携と医療 DX の推進について

地域医療連携室、在宅医療支援室、総合相談室の統合管理及び外部施設との協定締結は、患者紹介や入院患者の確保に有効に機能している。また、マイナンバーカードによる資格確認や AI 問診の活用により、業務効率化と患者サービスの向上が図られている。これらの取り組みを継続し、さらなる医療 DX の推進に努めること。

(2) 令和7年度 事業計画(案)について

① 総合診療科の設置と診療体制の強化について

内科と外科を統合した「総合診療科」の設置は、高齢化する地域医療ニーズに対する先駆的な取り組みである。今後は、専門性を維持しつつもジェネラリストとしての機能を強化し、地域包括ケアの核となる診療体制としてその役割を確実に果たすこと。

② 病院機能評価の受審について

令和9年度の日本病院機能評価受審に向けて、電子カルテ更新のタイミングと合わせた業務マニュアルの見直しは重要である。職員の負担も考慮しつつ、効率的な業務プロセスの構築を計画的に進めること。

③ 外国人医療対策の推進について

中東遠エリアの人口構成比を踏まえ、外国人患者への対応強化は必須の課題である。接遇委員会の下部組織として立ち上げたプロジェクトチームを中心に、言葉の壁や制度上の課題を解決し、地域住民として安心して医療を受けられる環境を整備すること。

④ 在宅医療連携拠点としての役割について

在宅医療提供体制の連携拠点及び積極的医療機関としての指定を踏まえ、地域医療構想を先取りする体制を構築すること。在宅医療におけるコーディネーターの育成等、地域包括ケアの中心としての機能をさらに強化されたい。

【日時】 令和7年3月1日（土）午後2時00分～午後4時10分

【場所】 森町家庭医療センター 会議室

【協議事項】

- (1) 令和6年度 経営強化プラン取組結果・評価について
- (2) 令和7年度事業計画（案）について

【出席者】

公立森町病院経営強化プラン評価委員会出席者名簿(敬称略)

	氏名	役職等	出席
委員長	高橋 泰	国際医療福祉大学大学院教授	出席
委員	竹内浩視	浜松医科大学特任教授	出席
	木村雅芳	静岡県西部保健所長	欠席
	鈴木勝之	磐周医師会長	出席
	山崎玉仁	森町医会代表	出席
	川崎義夫	学識経験者	出席
	吉筋恵治	森町議会議長	出席
	北川勝二	森町病院友の会会長	出席
	鈴木俊久	森町役場財政課長	出席
	小澤貴代美	森町役場福祉課長	出席
	朝比奈礼子	森町役場健康こども課長	出席
	中村昌樹	公立森町病院長	出席
	朝比奈直之	公立森町病院事務局長	出席

計 13 名